資料２

寝屋川市地域公共交通網形成計画

アクションプラン

令和４年(2022)年10月

寝屋川市

Ⅰ－1　寝屋川市地域公共交通網形成計画（平成31（2019年）～令和5（2023年））アクションプラン一覧（施策）

施策の展開方向		施策名	施策概要	実施年度			所管・事業主体	アクションプラン	評価指標
公共交通サービスの維持	①現在の公共交通サービス内容の周知・普及	(1)イベントの開催（スタンプラリー・絵画展等）	路線バスを利用したスタンプラリー等のイベントを実施し、現存の公共交通サービスの周知・普及を行います。	平成31（2019）年	～	令和5（2023）年	交通政策課 交通事業者	1　－　1	・路線バスの1日平均乗降者数 ・タウンくる木屋ルートの1日平均乗降客数 ・タウンくる木田・河北ルートの1日平均乗降客数 ・タウンくる黒原ルートの1日平均乗降客数 ・鉄道4駅の乗降客数 ・公共交通分担率 ・バス利便性に対する満足度 ・鉄道利便性に対する満足度 ・高齢者の「ほぼ毎日外出する人」の割合 ・高齢者の運転免許自主返納者数の割合 ※　令和3年2月1日より、運賃改定が行われたため、タウンくるの名称を廃止し、京阪バスの路線バスに移行した。
		(2)ICカード・ポイントサービスの普及促進	ICカードの普及促進とともに、現在交通事業者と連携して取り組んでいるポイントサービス（対象の交通系ICカードで既定のバスを利用した場合に運賃の10%分をポイントとして付与するサービス）の周知を行います。	平成31（2019）年	～	令和5（2023）年	交通政策課 交通事業者	1　－　2	
		(3)実施事業の継続および周知徹底	本市で利用可能な交通モード（福祉対応車両タクシーやシャトルバス）について、ホームページや広報等で周知し、交通弱者や重度障害者の社会参加を促し、公共交通の利用促進と市民の行政手続きの円滑化を推進します。	平成31（2019）年	～	令和5（2023）年	障害福祉課 資産活用課 交通事業者	1　－　3	
	②高齢者の公共交通への転換	(1)運転免許自主返納の促進	ワガヤネヤガワ健康ポイント事業等を活用した独自の自主返納に伴うポイント付与等の制度導入の検討を行います。また運転免許の自主返納を促進するよう周知徹底を図ります。	令和2（2020）年	～	令和5（2023）年	交通政策課	2　－　1	
		(2)介護予防施策の見直し	「買い物等外出促進事業」「高齢者交通系ICカード購入補助事業」「外出援助サービス事業」について、交通施策としてのあり方を一体的に検討します。	平成31（2019）年	～	令和5（2023）年	高齢介護室	2　－　2	
公共交通サービスの更なる充実・利便性の向上	③公共交通のアクセス性向上	(1)バス路線（タウンくる含む）の見直し	本市における京阪バス運行の「路線バス」、京阪バスの協力を得て運行しているコミュニティバス「タウンくる」のバス路線の見直しや、ルートの見直しに伴うバス停の増設を検討します。	令和4（2022）年	～	令和5（2023）年	交通政策課 交通事業者	3　－　1	
		(2)周辺市との連携によるバス路線の再構築の検討	市民の生活圏の広域性を向上させていくために、コミュニティバスの市域間連携なども含めたバス路線の再構築の検討を行います。 検討にあたっては周辺市及び交通事業者とも連携を行います。	令和4（2022）年	～	令和5（2023）年	交通政策課 交通事業者	3　－　2	
		(3)デマンドタクシー導入可能性の検討	寝屋川市の一部の交通不便地域（公共交通空白地帯）に対し、移動手段を確保する方策として、デマンドタクシーの導入可能性について検討します。	令和3（2021）年	～	令和5（2023）年	交通政策課 交通事業者	3　－　3	
	④公共交通の利便性向上	(1)ノンステップバスの推進	バリアフリーの観点から、バスの利便性を向上し利用促進を図るため、路線バス・タウンくる全車の、乗降性に優れたノンステップバス化を目指します。	平成31（2019）年	～	令和5（2023）年	交通政策課 交通事業者	4　－　1	
		(2)バスロケーションシステムの普及促進	バスロケーションシステム（パソコン、携帯電話等でバスの位置情報や接近情報等を提供するシステム）について、ホームページや広報誌等で周知を図るとともに、市内他2駅への発車案内モニター設置を検討します。	令和3（2021）年	～	令和5（2023）年	交通政策課 交通事業者	4　－　2	
		(3)バスマップの作成・配布	周辺市と連携したバス路線が一目でわかるような「バスマップ」を作成し、配布を行いバスの利用促進を図ります。	平成31（2019）年	～	令和5（2023）年	交通政策課 交通事業者	4　－　3	
	⑤公共交通利用者への経済的インセンティブの付与	(1)乗り継ぎによる割引制度	現行のICカードによる1dayチケット（650円で1日乗り放題）に対し、利便性の高い乗り継ぎによる市域内の複数路線や圏域をまたぐ路線、電車・バス等の複数交通手段の乗り継ぎ割引料金制度の導入を検討します。	令和4（2022）年	～	令和5（2023）年	交通政策課 交通事業者	5　－　1	
		(2)提携店舗や施設での割引やポイント制度の検討	寝屋川市周辺における商業施設と提携した「公共交通を利用した場合の割引や来店ポイント2倍」等の施策を検討します。	平成31（2019）年	～	令和5（2023）年	交通政策課 産業振興室 交通事業者 商業施設	5　－　2	
	⑥その他利便性向上に資する拠点・道路等の整備・改良	(1)鉄道駅周辺の整備	市内4駅（京阪：萱島・寝屋川市・香里園、JR：寝屋川公園）へのアクセス性向上を目的とした道路整備やこれら駅にバスの待ち合い環境を改善しバス利用者の利便性の向上を図ります。	令和3（2021）年	～	令和5（2023）年	交通政策課	6　－　1	
		(2)ターミナル等周辺の整備	新たな交通結節点（乗り継ぎ等）として可能性がある市内3ヶ所（三井団地、寝屋川団地、仁和寺）のターミナルのうち、鉄道駅と距離がある仁和寺地区の交通結節機能強化の整備・充実に取り組みます。	令和3（2021）年	～	令和5（2023）年	交通政策課 交通事業者	6　－　2	
		(3)都市計画道路の整備	将来予定される都市計画道路の整備に合わせ、必要に応じたバス路線の設定を行い、公共交通サービス水準を向上します。	平成31（2019）年	～	令和5（2023）年	交通政策課 2軸化事業本部	6　－　3	

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

１－１

施策名	施策概要	目的	所管
（1）イベントの開催（スタンプラリー・絵画展等）	路線バスを利用したスタンプラリー等のイベントを実施し、現存の公共交通サービスの周知・普及を行います。	現存の公共交通サービスの周知	交通政策課 交通事業者

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	イベントの実施（平成31（2019）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	第28回バス！のってスタンプラリー【枚方市と共催】を実施し、現存の公共交通サービスの周知を図った。 実施日：平成31年４月６日（土） 参加者　※438人（大人※263人、子ども※155人、幼児※20人） 参加比率（枚方市民※72.4%、寝屋川市民※19.1%、その他※8.5%）	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「中止」となり、イベントの開催はできなかった。 今後は、市独自の新たなイベントを検討し、公共交通サービスの周知・普及を図る。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、路線バスを活用したイベントの開催はできなかったが、新たなイベントを検討し、公共交通サービスの周知・普及を図る。	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、路線バスを活用したイベントの開催はできなかったが、新たなイベントを検討し、公共交通サービスの周知・普及を図る。	

※　数値については、ひらかた環境ネットワーク会議より提供

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

１－２

施策名	施策概要	目的	所管
(2)ICカード・ポイントサービスの普及促進	ICカードの普及促進とともに、現在交通事業者と連携して取り組んでいるポイントサービス（対象の交通系ICカードで既定のバスを利用した場合に運賃の10%分をポイントとして付与するサービス）の周知を行います。	ICカード制度を利用した公共交通サービスの普及促進	交通政策課 交通事業者

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	ポイントサービスの周知（平成31（2019）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	京阪バスIC１dayチケット及びポイントサービスについて、全自治会に回覧用のチラシを配布し、ICカードを利用した公共交通サービスの普及促進に努めた。 回覧チラシ：令和元年7月17日（水）発送（200自治会、※9,135枚配布）	ICカードを利用した公共交通サービス（京阪バスIC１dayチケット及びポイントサービス）について、市ホームページに掲載し普及促進に努めた。 また、昨年度作製した「ねやがわ交通タウンマップ」にも記載していることから、寝屋川市に転入してきた方々に配布し、周知を図った。	ICカードを利用した公共交通サービス（京阪バスIC１dayチケット及びポイントサービス）について、市ホームページに掲載し普及促進に努めた。 ※　ポイントサービスのポイントについて、令和３年６月１日より、10%から５%に変更した。	・ICカードを利用した公共交通サービス（京阪バスIC１dayチケット及びポイントサービス）について、市ホームページに掲載し普及促進に努めた。 ・京阪バスにおいて、新たに「京阪バスご利用ガイド」を作成し、バス車内や営業所、案内所等で配架することで、ICカード、京阪バスIC１dayチケット及びポイントサービスの普及促進に努めた。	

※　数値については、寝屋川市交通政策課より提供

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

１－３

施策名	施策概要	目的	所管
(3)実施事業の継続および周知徹底	本市で利用可能な交通モード（福祉対応車両タクシーやシャトルバス）について、ホームページや広報等で周知し、交通弱者や重度障害者の社会参加を促し、公共交通の利用促進と市民の行政手続きの円滑化を推進します。	交通弱者や重度障害者の移動支援と行政手続きの円滑化	障害福祉課 資産活用課 交通事業者

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	移動支援の周知（平成31（2019）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	保健福祉センターと池の里市民交流センター間において、福祉車両を運行。 実施：平成31年４月より 【１日　18往復】	保健福祉センターと池の里市民交流センター間において、福祉車両を運行。 実施：平成31年４月より 【１日　18往復】	保健福祉センターと池の里市民交流センター間において、福祉車両を運行。 実施：平成31年４月より 【１日　18往復】	保健福祉センターと池の里市民交流センター間において、福祉車両を運行。 実施：平成31年４月より 【１日　19往復】	
	【延べ乗車人数】 ※2,753人（令和元年９月末現在）	【延べ乗車人数】 ※1,624人（令和２年９月末現在） 前年比 ▲1,129人	【延べ乗車人数】 ※1,289人（令和３年９月末現在） 前年比 ▲335人	【延べ乗車人数】 ※1,285人（令和４年９月末現在） 前年比 ▲４人	
	【延べ乗車人数】 ※4,493人（令和２年２月末現在）	【延べ乗車人数 ※2,627人（令和３年２月末現在）】 前年比 ▲1,866人	【延べ乗車人数 ※2,127人（令和４年１月末現在）】 前年比 ▲500人		
	【参考】市役所と保健福祉センター間でのシャトルバス延べ乗車人数	【参考】市役所と保健福祉センター間でのシャトルバス延べ乗車人数	【参考】市役所と保健福祉センター間でのシャトルバス延べ乗車人数	【参考】市役所と保健福祉センター間でのシャトルバス延べ乗車人数	
	【延べ乗車人数】 ※23,742（令和元年９月末現在）	【延べ乗車人数】 ※14,460人（令和２年９月末現在） 前年比 ▲9,282人	【延べ乗車人数】 ※14,314人（令和３年９月末現在） 前年比 ▲146人	【延べ乗車人数】 ※16,709人（令和４年９月末現在） 前年比 ＋2,395人	
	【延べ乗車人数】 ※44,282人（令和２年３月末現在）	【延べ乗車人数】 ※28,841人（令和３年３月末現在） 前年比 ▲15,441人	【延べ乗車人数】 ※28,494人（令和４年３月末現在） 前年比 ▲347人		

※　数値については、寝屋川市資産活用課より提供

【参考】 保健福祉センターと池の里市民交流センター間

R1（2019）　延べ乗車人数　※4,723人（令和２年３月31日現在）

R2（2020）　延べ乗車人数　※2,859人（令和３年３月31日現在）

R3（2021）　延べ乗車人数　※2,420人（令和４年３月31日現在）

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

２－１

施策名	施策概要	目的	所管
(1)運転免許自主返納の促進	ワガヤネヤガワ健康ポイント事業等を活用した独自の自主返納に伴うポイント付与等の制度導入の検討を行います。また運転免許の自主返納を促進するよう周知徹底を図ります。	高齢者の公共交通の利用促進	交通政策課

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	自主返納の周知、返納制度の検討（令和２（2020）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	ワガヤネヤガワ健康ポイントの事業に、「高齢者の運転免許自主返納」を新たに追加し、自主返納をされた方にシールを１枚進呈。 ポイントカード配布期間：平成31年４月１日～令和２年３月31日 【実績　※19枚進呈（令和２年２月末現在）】 運転免許証の自主返納制度について、全自治会に回覧用のチラシを配布し、公共交通の利用促進も含め周知を図った。 回覧チラシ：令和元年７月17日（水）発送（200自治会、※9,135枚配布）	高齢者の運転免許自主返納について、大阪府交通対策協議会が作成した様々な特典を受けることができる内容のリーフレットを、公共施設に配架するとともに、市ホームページに掲載し、周知・徹底を図った。	高齢者の運転免許自主返納について、大阪府交通対策協議会が作成した様々な特典を受けることができる内容のリーフレットを、公共施設に配架するとともに、市ホームページ及び広報誌に掲載し、周知・徹底を図った。	高齢者の運転免許自主返納について、大阪府交通対策協議会が作成した様々な特典を受けることができる内容のリーフレットを、公共施設に配架するとともに、市ホームページ及び広報誌に掲載し、周知・徹底を図った。	

※　数値については、寝屋川市交通政策課より提供

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

２－２

施策名	施策概要	目的	所管
2）介護予防施策の見直し	「買い物等外出促進事業」「高齢者交通系ICカード購入補助事業」「外出援助サービス事業」について、交通施策としてのあり方を一体的に検討します。	交通弱者等に対する支援方法の検討	交通政策課 高齢介護室

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	支援方法の検討（平成31（2019）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	（仮称）ねやがわ乗合いワゴン事業の本格実施に合わせて、既存事業のあり方について検討。	実証実験を行ったねやがわ乗合いワゴン事業の結果を踏まえ、既存事業のあり方について検討。 【検討結果概要】 ・乗合い事業の実施地域における買い物等外出促進事業について、R2をもって終了する。 ・バス利用促進事業を実施することからR3高齢者交通系ICカード購入補助事業の補助額を2,000円から1,000円に減額する。 ・外出援助サービス事業については、乗合い事業の今後の実施状況を踏まえて引き続き検討。	・外出援助サービス事業をはじめ、既存事業のあり方について、乗合い事業の今後の実施状況を踏まえて引き続き検討。 ・高齢者交通系ICカード購入補助事業については、バス利用促進事業が開始されたことから、補助額を2,000円から1,000円に減額して実施。	・外出援助サービス事業をはじめ、既存事業のあり方について、乗合い事業の今後の実施状況を踏まえて引き続き検討。 ・高齢者交通系ICカード購入補助事業については、バス利用促進事業が開始されたことから、補助額を2,000円から1,000円に減額して実施。	

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

３－１

施策名	施策概要	目的	所管
(1)バス路線（タウンくる含む）の見直し	本市における京阪バス運行の「路線バス」、京阪バスの協力を得て運行しているコミュニティバス「タウンくる」のバス路線の見直しや、ルートの見直しに伴うバス停の増設を検討します。	公共交通のアクセス性を向上	交通政策課 交通事業者

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	バス路線の見直し（令和４（2022）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	―	―	令和３年９月25日の京阪バスのダイヤ改正により、「市立総合センター」のバス停を廃止し、「池の里市民交流センター」に延伸した。	令和４年４月１日の京阪バスのダイヤ改正により、「寝屋川市駅」～「イオンモール四條畷」及び「イオンモール四條畷」～「四条畷駅」の経路を一部統合し、「寝屋川市駅～イオンモール四條畷～四条畷駅」の利便性の高い路線に再編した。	

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

３－２

施策名	施策概要	目的	所管
(2)周辺市との連携によるバス路線の再構築の検討	市民の生活圏の広域性を向上させていくために、コミュニティバスの市域間連携なども含めたバス路線の再構築の検討を行います。検討にあたっては周辺市及び交通事業者とも連携を行います。	周辺市との連携による利便性の向上	交通政策課 交通事業者

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	バス路線の見直し（令和４（2022）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	―	―	―	JR星田駅前の再開発に伴いバスの利便性の向上を図るため、交野市及び枚方市と連携についての確認を行った。	

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

３－３

施策名	施策概要	目的	所管
(3)デマンドタクシー導入可能性の検討	寝屋川市の一部の交通不便地域（公共交通空白地域）に対し、移動手段を確保する方策として、デマンドタクシーの導入可能性について検討します。	交通不便地域での移動手段の確保	交通政策課 交通事業者

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	デマンドタクシー導入検討（令和３（2021）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	公共交通空白地域をカバーするため、既存の公共交通網を補完する第三の公共交通機関として、シルバー世代の方や妊婦の方々等を対象とした、電話一本で無料で利用できる「（仮称）ねやがわ乗合いワゴン事業」の実験導入を開始する。なお、本格導入の際には、本協議会において報告する。 実験導入期間：令和元年12月20日～令和3年3月31日 対象地区：3地区（成田、仁和寺、河北地区）	「ねやがわ乗合いワゴン事業」の実証実験による結果報告書（案）を作成し、公表。 実証実験期間：令和2年1月～7月分 対象地区：3地区（成田、仁和寺、河北）	「ねやがわ乗合いワゴン事業」の実証実験を踏まえ、タクシーを活用するとともに、対象エリアを拡大し、地区外の指定した施設への移動も可能となるよう、新たに「乗合い事業」として運用。	「ねやがわ乗合いワゴン事業」の実証実験を踏まえ、タクシーを活用するとともに、対象エリアを拡大し、地区外の指定した施設への移動も可能となるよう、令和3年度に引き続き「乗合い事業」として運用。	
		【利用実績（令和2年9月末現在）】 ・成田地区 件数：※1,457件 人数：※1,631人 ・仁和寺地区 件数：※1,214件 人数：※1,636人 ・河北地区 件数：※234件 人数：※329人	【利用実績（令和3年9月末現在）】 ・成田地区 件数：※2,656件 人数：※2,853人 ・仁和寺地区 件数：※1,788件 人数：※2,444人 ・河北地区 件数：※315件 人数：※461人	【利用実績（令和4年9月末現在）】 ・成田地区 件数：※3,781件 人数：※4,238人 ・仁和寺地区 件数：※1,754件 人数：※2,409人 ・河北地区 件数：※420件 人数：※577人	
	【利用実績（令和2年2月末現在）】 ・成田地区 件数：※264件 人数：※328人 ・仁和寺地区 件数：※259件 人数：※399人 ・河北地区 件数：※121件 人数：※244人	【利用実績（令和3年2月末現在）】 ・成田地区 件数：※2,965件 人数：※3,367人 ・仁和寺地区 件数：※2,388件 人数：※3,146人 ・河北地区 件数：※541件 人数：※786人	【利用実績（令和4年1月末現在）】 ・成田地区 件数：※4,541件 人数：※4,941人 ・仁和寺地区 件数：※2,887件 人数：※3,920人 ・河北地区 件数：※494件 人数：※740人		

※　数値については、寝屋川市交通政策課より提供

【参考】

R1（2019）　利用実績（令和2年3月31日現在）
- ・成田地区　件数：※456件、人数：※570人
- ・仁和寺地区　件数：※401件、人数：※607人
- ・河北地区　件数：※181件、人数：※321人

R2（2020）　利用実績（令和3年3月31日現在）
- ・成田地区　件数：※3,282件、人数：※3,708人
- ・仁和寺地区　件数：※2,647件、人数：※3,494人
- ・河北地区　件数：※598件、人数：※888人

R3（2021）　利用実績（令和4年3月31日現在）
- ・成田地区　件数：※5,531件、人数：※6,048人
- ・仁和寺地区　件数：※3,437件、人数：※4,651人
- ・河北地区　件数：※630件、人数：※922人

●令和3年12月27日付けで寝屋川市地域公共交通協議会（第15回）の書面開催を行った結果は、次のとおりです。

1　乗合い事業乗降場所について、「市立保健福祉センター」から「池の里市民交流センター」に変更することについて、賛成多数により令和4年1月24日から「池の里市民交流センター」に変更いたしました。

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

４－１

施策名	施策概要	目的	所管
(1)ノンステップバスの推進	バリアフリーの観点から、バスの利便性を向上し利用促進を図るため、路線バス・タウンくる全車の、乗降性に優れたノンステップバス化を目指します。	バリアフリー設備の導入による高齢者等のバスの利用促進	交通政策課 交通事業者

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	ノンステップバス導入（平成31（2019）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	平成29年度末実績 ツーステップバス ※15台 平成30年度末実績 ツーステップバス ※13台 【前年比　▲2台】	平成30年度末実績 ツーステップバス ※13台 令和元年度末実績 ツーステップバス ※８台 【前年比　▲5台】	令和元年度末実績 ツーステップバス ※８台 令和２年度末実績 ツーステップバス ※５台 【前年比　▲3台】	令和２年度末実績 ツーステップバス ※５台 令和３年度末実績 ツーステップバス ※３台 【前年比　▲2台】	

※　数値については、京阪バス株式会社より提供

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

４－２

施策名	施策概要	目的	所管
2）バスロケーションシステムの普及促進	バスロケーションシステム（パソコン、携帯電話等でバスの位置情報や接近情報等を提供するシステム）について、ホームページや広報誌等で周知を図るとともに、市内他２駅への発車案内モニター設置を検討します。	バスロケーションシステムの普及促進による公共交通の乗継性の向上	交通政策課 交通事業者

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	バスロケーションシステムの設置（令和３（2021）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	―	―	各バス停標柱に掲出したQRコードをスマホで読み込むことで、当該バス停の運行情報を確認することができる。 なお、寝屋川市域の全てのバス停標柱にQRコードを設置済。	各バス停標柱に掲出したQRコードをスマホで読み込むことで、当該バス停の運行情報を確認することができる。 なお、寝屋川市域の全てのバス停標柱にQRコードを設置済。	

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

４－３

施策名	施策概要	目的	所管
(3)バスマップの作成・配布	周辺市と連携したバス路線が一目でわかるような「バスマップ」を作成し、配布を行いバスの利用促進を図ります。	わかりやすいバス路線の周知	交通政策課 交通事業者

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	バスマップ作成・配布（平成31（2019）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	周辺市と連携を図ったねやがわ交通タウンマップを作製 配布時期：令和元年12月１日号の広報誌と同時配布（全戸配布） 【実績】 ※115,000部配布	昨年度、作製した「ねやがわ交通タウンマップ」について、寝屋川市に転入してきた方々に配布し、バスの利用促進を図った。	「ねやがわ交通タウンマップ」について、寝屋川市に転入してきた方々に配布するとともに、市ホームページに掲載しバスの利用促進を図った。	「ねやがわ交通タウンマップ」について、寝屋川市に転入してきた方々に配布するとともに、市ホームページに掲載しバスの利用促進を図った。	

※　数値については、寝屋川市交通政策課より提供

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

５－１

施策名	施策概要	目的	所管
(1)乗り継ぎによる割引制度	現行のICカードによる1dayチケット（650円で1日乗り放題）に対し、利便性の高い乗り継ぎによる市域内の複数路線や圏域をまたぐ路線、電車・バス等の複数交通手段の乗り継ぎ割引料金制度の導入を検討します。	バスの乗り継ぎにかかる新たな料金制度による利用促進	交通政策課 交通事業者

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	乗り継ぎ割引制度の検討（令和４（2022）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	―	―	乗り継ぎ割引制度にかわる新たな施策として、シルバー世代等の外出支援を目的に、100円で利用できるバス利用促進事業を実施。	乗り継ぎ割引制度にかわる新たな施策として、シルバー世代等の外出支援を目的に、100円で利用できるバス利用促進事業を実施。	

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

５－２

施策名	施策概要	目的	所管
(2)提携店舗や施設での割引やポイント制度の検討	寝屋川市周辺における商業施設と提携した「公共交通を利用した場合の割引や来店ポイント2倍」等の施策を検討します。	地域の大規模商業施設などとの連携を図り、公共交通や施設の利用向上を促進	交通政策課 産業振興室 交通事業者 商業施設

<table>
<tr><th></th><th>R1(2019)</th><th>R2(2020)</th><th>R3(2021)</th><th>R4(2022)</th><th>R5(2023)</th></tr>
<tr><td>取組計画</td><td colspan="5">ポイント制度の検討（平成31（2019）年～令和５（2023）年）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">成果・実績</td><td rowspan="4">大規模商業施設等と割引やポイント制度について協議を実施。</td><td rowspan="4">ポイント制度にかわる新たな施策として、高齢者の外出支援を目的に、100円で利用できるバス乗車券の検討を実施。
【概要】
対象者：高齢者（70歳以上）、妊婦、障害者等
対象範囲：市内全域（ただし、寝屋川市内のバス停を乗降する場合に限る。）
バス利用券：高齢者・妊婦用（１枚130円相当額　10枚綴り）、障害者用（１枚70円相当額　10枚綴り）
使用期限：１年間
開始日：令和３年４月１日</td><td>シルバー世代等の公共交通の利用促進を図るため、路線バスを活用した新たな事業として、「バス利用促進事業」を実施。</td><td>シルバー世代等の公共交通の利用促進を図るため、路線バスを活用した「バス利用促進事業」を、令和３年度に引き続き実施。</td><td></td></tr>
<tr><td>【利用実績（令和３年９月末現在）】
・シルバー世代（妊婦含む）
利用人数：※6,249人
利用率：※13.0%
・障害者
利用人数：※903人
利用率：※7.5%</td><td>【利用実績（令和４年９月末現在）】
・シルバー世代（妊婦含む）
利用人数：※9,151人
利用率：※17.7%
・障害者
利用人数：※1,423人
利用率：※13.0%</td><td></td></tr>
<tr><td>【利用実績（令和４年１月末現在）】
・シルバー世代（妊婦含む）
利用人数：※9,457人
利用率：※19.7%
・障害者
利用人数：※1,320人
利用率：※11.0%</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td></td><td>令和４年４月１日より、京阪バスとフレスト寝屋川店の連携により、3,000円以上お買い上げの方（e-kenetカード会員対象）に帰りのバスチケットを進呈する「バスチケットサービス」を開始。</td><td></td></tr>
</table>

※　数値については、寝屋川市交通政策課より提供

【参考】

R3（2021）　利用実績（令和４年３月31日現在）　・シルバー世代（妊婦含む）　利用人数※10,759人　利用率※21.1%

・障害者　利用人数※1,459人　利用率※13.9%

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

６－１

施策名	施策概要	目的	所管
(1)鉄道駅周辺の整備	市内4駅（京阪：萱島・寝屋川市・香里園、JR：寝屋川公園）へのアクセス性向上を目的とした道路整備やこれら駅にバスの待ち合い環境を改善しバス利用者の利便性の向上を図ります。	鉄道駅周辺の整備による公共交通の利便性を向上	交通政策課

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	鉄道駅周辺の整備（令和３（2021）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	―	―	寝屋川市駅周辺地区都市再生整備計画（令和5年度～令和9年度）を予定しており、電車・バス利用者の利便性の向上を図るため、西側及び東側駅前広場の再整備（リニューアル）の検討を進めている。	寝屋川市駅周辺地区都市再生整備計画（令和6年度～令和10年度）を予定しており、電車・バス利用者の利便性の向上を図るため、西側及び東側駅前広場の再整備（リニューアル）の検討を進めている。	

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

６－２

施策名	施策概要	目的	所管
(2)ターミナル等周辺の整備	新たな交通結節点（乗り継ぎ等）として可能性がある市内3ヶ所（三井団地、寝屋川団地、仁和寺）のターミナルのうち、鉄道駅と距離がある仁和寺地区の交通結節機能強化の整備・充実に取り組みます。	ターミナル周辺等の整備による公共交通の利便性を向上	交通政策課 交通事業者

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	仁和寺地区の整備（令和３（2021）年～令和５（2023）年）				
成果・実績	―	―	市内3ケ所のターミナルのうち、寝屋川団地及び仁和寺のターミナルについては、乗合い事業と連携を図り、路線バスとの乗り継ぎとして乗降場所を指定。	市内3ケ所のターミナルのうち、寝屋川団地及び仁和寺のターミナルについては、乗合い事業と連携を図り、路線バスとの乗り継ぎとして乗降場所を指定。	

Ⅰ－２　施策ごとのアクションプラン（取り組み計画）

６－３

施策名	施策概要	目的	所管
(3)都市計画道路の整備	将来予定される都市計画道路の整備に合わせ、必要に応じたバス路線の設定を行い、公共交通サービス水準を向上します。	都市計画道路の整備による公共交通道路ネットワークの強化	交通政策課 ２軸化事業本部

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
取組計画	（平成31（2019）年～令和５（2023）年）都市計画道路の整備				
成果・実績	都市計画道路対馬江大利線及び寝屋川公園駅前線において、バスの定時制を確保するなどの公共交通道路のネットワーク強化について検討を実施。	令和２年９月に開通した都市計画道路寝屋川公園駅前線において、今後、沿道の店舗等による地域の活性化を把握することで、新規路線としての協議や、バス路線の定時制を確保するなどの公共交通道路のネットワーク強化について検討を実施。	公共交通道路のネットワーク強化について、コロナ禍により、公共交通の利用者は減少していることから、沿道地域の活性化が回復した時点で検討。	公共交通道路のネットワーク強化について、コロナ禍により、公共交通の利用者は減少していることから、沿道地域の活性化が回復した時点で検討。	

Ⅱ－２　目標・評価指標ごとのアクションプラン

目標:　公共交通利用者数・公共交通分担率の維持

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
評価指標	路線バスの1日平均乗降者数				
	※47.7千人 H28(2016)	→	→	→	※47.7千人 R3(2021)
成果・実績	※48.7千人 H29(2017) 前年比 ＋1,000人	※49.1千人 H30(2018) 前年比 ＋400人	※47.8千人 R1(2019) 前年比 ▲1,300人	※34.5千人 R2(2020) 前年比 ▲13,300人 【参考】※36.8千人 R3(2021) 前年比 ＋2,300人	

※　数値については、寝屋川市統計書（各年）。ただし、タウンくるについては個別の評価指標があるため含んでいない。

※　令和３年２月１日より、運賃改定が行われたため、タウンくるの名称を廃止し、京阪バスの路線バスに移行した。

※　参考数値については、京阪バス株式会社より提供

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
評価指標	タウンくる木屋ルートの1日平均乗降客数				
	※137人 H29(2017)	→	→	→	※137人 R4(2022)
成果・実績	※131人 H30(2018) 前年比 ▲6人	※124人 R1(2019) 前年比 ▲7人	※89人 R2(2020) 前年比 ▲35人	※91人 R3(2021) 前年比 ＋2人	

※　数値については、京阪バス株式会社より提供

※　令和３年２月１日より、運賃改定が行われたため、タウンくるの名称を廃止し、京阪バスの路線バスに移行した。

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
	タウンくる木田・河北ルートの1日平均乗降客数				
	※234人 H29(2017)	→	→	→	※234人 R4(2022)
成果・実績	※237人 H30(2018) 前年比 ＋3人	※229人 R1(2019) 前年比 ▲8人	※154人 R2(2020) 前年比 ▲75人	※149人 R3(2021) 前年比 ▲5人	

※　数値については、京阪バス株式会社より提供

※　令和３年２月１日より、運賃改定が行われたため、タウンくるの名称を廃止し、京阪バスの路線バスに移行した。

Ⅱ－２　目標・評価指標ごとのアクションプラン

目標:　公共交通利用者数・公共交通分担率の維持

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
評価指標	タウンくる黒原ルートの1日平均乗降客数				
	※344人 H29(2017)	→	→	→	※344人 R4(2022)
成果・実績	※354人 H30(2018) 前年比 ＋10人	※343人 R1(2019) 前年比 ▲11人	※249人 R2(2020) 前年比 ▲94人	※274人 R3(2021) 前年比 ＋25人	

※　数値については、京阪バス株式会社より提供

※　令和３年２月１日より、運賃改定が行われたため、タウンくるの名称を廃止し、京阪バスの路線バスに移行した。

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
評価指標	鉄道4駅の乗降客数				
	※15.44万人 H28(2016)	→	→	→	※15.44万人 R3(2021)
成果・実績	※16.18万人 H29(2017) 前年比 ＋7,400人	※15.82万人 H30(2018) 前年比 ▲3,600人	※16.00万人 R1(2019) 前年比 ＋1,800人	※13.57万人 R2(2020) 前年比 ▲24,300人 【参考】※13.46万人 R3(2021) 前年比 ▲1,100人	

※　数値については、寝屋川市統計書（各年）

※　参考数値については、京阪電気鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社より提供

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
評価指標	公共交通分担率				
	※20.4 H22(2010)	→	→	→	※20.4 R2(2020)
成果・実績	―	―	―	―	

※　数値については、近畿圏パーソントリップ調査（H22（2010）年）

Ⅱ－２　目標・評価指標ごとのアクションプラン

目標:　公共交通サービスに対する満足度向上

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
評価指標	バス利便性に対する満足度				
	※38.2% H29(2017)	→	→	→	※43.2% R4(2022)
成果・実績	―	―	―	―	

※　数値については、寝屋川市地域公共交通網形成計画

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
評価指標	鉄道利便性に対する満足度				
	※66.6% H29(2017)	→	→	→	※70.0% R4(2022)
成果・実績	―	―	―	―	

※　数値については、寝屋川市地域公共交通網形成計画

Ⅱ－２　目標・評価指標ごとのアクションプラン

目標:　高齢者の移動支援や公共交通利用促進

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
評価指標	高齢者の「ほぼ毎日外出する人」の割合				
	※43.6% H29(2017)	→	→	→	※48.6% R4(2022)
成果・実績	―	―	―	―	

※　数値については、寝屋川市地域公共交通網形成計画

	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)
評価指標	高齢者の運転免許自主返納者数の割合				
	※3.28% H29(2017)	→	→	→	※5.68% R4(2022)
成果・実績	※2.86% H30(2018) 前年比 ▲0.42%	※4.27% R1(2019) 前年比 ＋1.41%	※4.64% R2(2020) 前年比 ＋0.37%	※4.32% R3(2021) 前年比 ▲0.32%	
	【参考】 全国 ※2.26% H30(2018) 大阪府 ※3.61% H30(2018)	【参考】 全国 ※3.19% R1(2019) 大阪府 ※5.05% R1(2019)	【参考】 全国 ※2.90% R2(2020) 大阪府 ※4.28% R2(2020)	【参考】 全国 ※2.68% R3(2021) 大阪府 ※3.92% R3(2021)	

※　数値については、大阪府警より提供